

企業の社会的責任 (CSR) への取り組み

大阪ガスグループCSR推進体制

大阪ガスグループは、「お客さま価値」の創造を第一に、これを「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の創造につなげることを事業活動の指針としており、公正で透明な事業活動を通じて、4つの価値創造を実現することが、当社グループのCSR（社会的責任）を全うすることと考えています。

ステークホルダーの期待に応え、企業の社会的責任を全うし、大阪ガスグループが持続的な発展を図っていくため、「大阪ガスグループCSR憲章」を定め、当社グループの役員および従業員の行動の指針としています。

CSR推進にあたっては、社長のもと、役員などがCSRに関する活動計画および活動報告の審議を行う「CSR推進会議」と、当社グループのCSR活動を統括する役員「CSR統括」を委員長として関連組織長が委員となり組織横断的な調整・推進を行う「CSR委員会」を設置し、適切かつ積極的な活動の実践に努めています。

CSR指標と取り組み実績

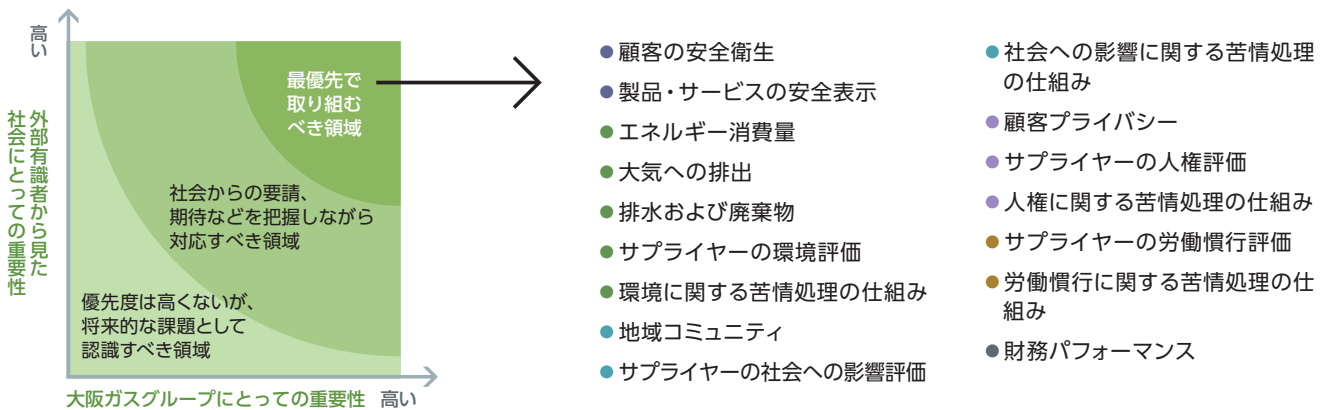
大阪ガスグループでは、CSRの取り組み推進と“見える化”のために2009年からCSR憲章ごとに「CSR指標」を設定しています。現行の指標は、2014-2016年度とし、目標達成に向けて取り組みを推進しています。

CSRにおけるマテリアリティの検討と特定

大阪ガスグループは、総合エネルギー事業者としての活動が社会に及ぼす影響を把握し、影響の可能性や影響そのものを管理しながら事業を行うべきとの考えのもと、当社グループの社会的責任として、重要な側面（マテリアリティ）を特定し、マネジメントを行っています。

マテリアリティは、GRIガイドライン第4版の46の側面を「大阪ガスグループCSR憲章」に沿って整理したうえで、マテリアリティ特定プロセスに準拠して検討しました。特定プロセスでは、自社視点、外部有識者視点による重要性の評価結果をマッピングし、両方の視点で重要性が高いと考える側面を最優先に取り組みすべきとの判断で特定しています。

大阪ガスグループにおけるCSR重要課題（マテリアリティ）



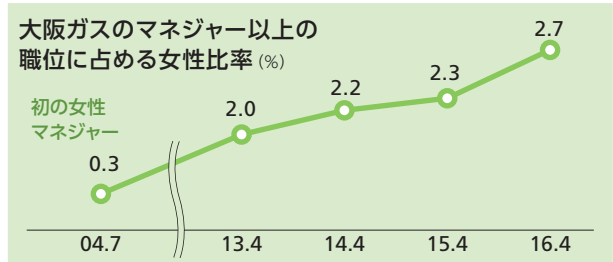
女性社員の活躍推進

大阪ガスでは、これから国内の労働人口が減少していくなか、「女性」の戦力化は急務であると考え、女性が能力を發揮して活躍できる職場環境づくりに努めています。本人の適性や希望も踏まえ、ガス製造、供給、営業など多様な職場において女性社員が活躍しており、平成27年度「大阪市女性活躍リーディングカンパニー市長表彰」の「最優秀賞」受賞や、平成27年度「なでしこ銘柄」の3年連続選定など、社外からも評価いただいています。

今後は、総合職採用人数に占める女性比率30%以上の継続、および2020年までに女性管理職比率を5%以上にするを目標に、様々な取り組みや各種制度の拡充を進めていきます。

仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスに対する各種取り組みを進めてきた成果もあって、管理職*に占める女性比率は、2016年4月には2.7%になっています。

*管理職：マネジャー（課長）以上の職位



大阪ガスは、平成27年度「なでしこ銘柄」に選定されました。

CSR憲章と取り組み指標

CSR憲章	CSR指標／●主要取り組み指標	2015年度実績
I お客さま価値の創造 大阪ガスグループは、天然ガスをコアとするマルチエネルギーの安定供給、保安の確保およびサービスの向上を通じて、お客さまの快適な暮らしとビジネスの発展に貢献していきます。あわせて、社会的に有用な商品・サービスの提供により、新しい価値の創造に挑戦し、お客さまとともに進化し発展し続ける企業グループを目指します。	「お客さま満足度調査」 7つの顧客接点業務 ●トータルの総合満足度 87%以上 ●それぞれの満足度全てで 84%以上	91.9% 全てで84%以上
II 環境との調和と持続可能な社会への貢献 地域および地球規模の環境保全是、エネルギービジネスを中心に事業展開する大阪ガスグループにとって極めて重要な使命であります。大阪ガスグループは、我々のあらゆる活動が環境と深く関わっていることを認識し、その事業活動を通じて環境との調和を図り、エネルギーと資源の効率的利用を実現することによって、持続可能な社会の発展に貢献します。	「環境経営指標」 ●環境経営効率 2016年度に向けて 58円/千㎡以下	2015年度は 59円/千㎡
III 社会とのコミュニケーションと社会貢献 大阪ガスグループは、自らの企業活動を世の中に正しく理解していただくため、情報を積極的に公開し、経営の透明性を高めるとともに、社会とのコミュニケーションを推進します。また、良き企業市民として、地域社会に貢献するよう努めます。	「コミュニケーション活動」 ●実施回数(環境・食コミュニケーション活動) 1,100回以上 ●接点数(ガス科学館などの来場者数) 60,000人以上 「社会貢献活動」 ●実施回数600回以上	2,028回 61,402人 778回
IV コンプライアンスの推進と人権の尊重 大阪ガスグループは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に実施することで、社会からの信頼を得る健全な企業グループを目指します。コンプライアンスとは、法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む幅広いものと捉え、お客さま、取引先さまなど全ての人々との公正な関係を維持し、人権の尊重に努めます。	「コンプライアンス意識調査スコア」 ●【個人】企業行動基準の理解度：前年度より向上 ●【組織】コンプライアンス体質化度：前年度より向上 「コンプライアンス研修受講率」 ●100%	前年度より0.4ポイント 向上(73.8%) 前年度より0.4ポイント 低下(86.6%) 100%
V 人間成長を目指した企業経営 大阪ガスグループは、雇用の確保を図るとともに、従業員の個性と自主性を尊重し、仕事を通じて人間的成長を図ることのできる企業を目指します。お客さま、社会、株主さまの期待に応える新しい価値の創造に向け、従業員がやりがいを持って仕事に挑戦し、成長するためのサポートを行います。	「社員意識調査」 ●やりがい、愛着度の適正水準維持	2015年度は 調査を実施せず 2014年度実績 (やりがい3.85/5段階) (愛着度4.38/5段階)

SRIインデックスへの組み入れ状況

大阪ガスは、2016年7月時点で、以下のSRI(社会的責任投資)関連インデックスに組み入れられています。



※1 FTSE Russell (FTSE インターナショナル社および Frank Russell 社の商号) は、大阪ガス株式会社が FTSE4Good の基準に従って独立評価を受け、FTSE4Good インデックスシリーズの構成銘柄となるための要件を満たしていることを確認します。世界的なインデックス企業である FTSE Russell により開発された FTSE4Good は、世界中で認知されている企業責任基準に適合する企業への投資を促進することを目的とした株価指数です。FTSE4Good インデックスシリーズに選ばれた企業は環境、社会、ガバナンスの厳しい基準に適合しており、責任ある事業慣行を行っているものとみなされます。
<http://www.ftse.com/products/indices/FTSE4Good>

大阪ガスグループのCSR活動について、より詳しい情報を「大阪ガスグループCSRレポート」および、ホームページで紹介しています。



<http://www.osakagas.co.jp/company/csr/>

※2 大阪ガスの MSCI インデックスへの採用、および、MSCI ロゴ、商標およびインデックス名の使用に際し、MSCI やその関係会社は大阪ガスへの資金提供や保証あるいは販売促進を行うものではありません。MSCI インデックスの排他的独占所有権は MSCI にあります。MSCI インデックスの名称およびロゴは MSCI またはその関係会社の商標です。
<https://www.msci.com/esg-integration>